

次期町長へ町政課題は どう引継ぐか

答 計画どおり進めて頂きたい



照屋 仁士 議員



問 11月7日赤嶺町長は会見を開き、「次期町長選挙へ不出馬、後継は町商工会長」と報道があった。どのような手法、経過で後継者を選ばれたか。

町長 意中の4名それぞれ相談し、一人前向きな返事があり、それを尊重した。

問 その過程で本人もしくは推薦、第三者からの意見等も取り入れたか。

町長 それはない。私が直接4人に相談した。

問 答弁からすると関係者との事前協議はなく、後継を決めた後の事後説明と取れる。町長を支持する与党議員は何名で、そのうち何名に説明されたか。

町長 相談をした議員は9名だった。

問 町長選挙での推薦団体、政党等もあるが、相談だったか、説明されたか。

町長 政党、団体には相談していない。



自ら答弁する町長

問 後継の金城氏、人格をどのように把握されているか。行政経験がなく不安という声もある。町長には行政経験は必要ないということか。

町長 商工会長と町長という付き合いがある。知人・友人として約30年近くの付き合いがある。人物的にどんな人かが大事かと思っている。

問 赤嶺町長は、国政与党のみを支持してきた。金城氏の支持政党はどうなるか。

町長 保守寄りと感じる。自分のスタンスは決めて頂きたい。

問 町政課題について、町民体育館はどのように引継ぐか。

町長 計画どおり進めて頂きたい。

問 次に大きな事業で区画整理事業、どう引継ぎされるか。

町長 行政は継続だ。計画通り引き継いで頂きたい。

問 赤嶺町長は後継が争う町長選挙にどう関わるか。

町長 後援会長として関わる。

問 選挙後も気になる。赤嶺町長自身の政治活動はどうなされるか。

町長 政治活動から一線を画し、字宮平の為とか、そういうものを考えてみたい。